

ちば県議会だより

会派等別議員数		
会派等名	議席	議員数
自由民主党千葉県議会議員会	自民党	50人
立憲民主党千葉県議会議員会	立憲民	15人
公明党千葉県議会議員団	公明党	8人
日本共産党千葉県議会議員団	共産党	4人
千葉政策議員団	千政団	4人
国民民主党千葉県議会議員会	国民	2人
千葉新政会	新政会	2人
平和の党	平和党	1人
千葉県民の声	県民声	1人
北総タッシュの会	北総タ	1人
リベラル民主	リベ民	1人
市民ネットワーク	市民ネ	1人
市民力	市民力	1人
有志の会	有志	1人
無所属議員	無所属	3人
定数95人 現員95人		(令和6年1月1日現在)

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行 千葉県議会 編集 千葉県議会事務局政務調査課 千葉県中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話 043 (223) 2523 FAX 043 (222) 4073 千葉県議会 検索



12月定例会県議会のあらまし

12月定例会県議会は、11月22日に招集され、12月19日までの28日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、令和5年度一般会計補正予算等の議案50件、報告2件が上程され、知事から提案理由説明と当面する諸問題等について報告がありました。

その後、議員発議による「千葉県議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」が上程されました。

11月29日から7日間にわたり行われた代表質問並びに一般質問は、25名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、防災対策、福祉、道路、教育問題等について活発な議論が展開されました。

12月7日には議会運営委員会が、12月11日から5日間にわたり各常任委員会が開催され、付託された議案・請願・発議案について具体的・専門的な審査が行われました。

閉会日には、決算審査特別委員会の委員長報告、討論が行われ、採決の結果、令和4年度決算は認定されました。続いて、令和5年度補正予算関係の議案1件が追加上程され、知事から提案理由説明があった後、所管の常任委員会(総務防災・総合企画企業・健康福祉・商工労働・農林水産)に付託され、審査が行われました。

本会議再開後、各常任委員会および議会運営委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案および発議案については原案のとおり可決されました。

その後、追加上程された人事案件2件が同意され、続いて、議員発議案(意見書)17件のうち1件を可決し、今定例会に付議された全ての案件の審議を終了しました。

代表質問

11月29日(水)



自民党 小池 正昭 議員 (成田市)

- 知事の政治姿勢
- 台風第13号の接近に伴う大雨
- 成田空港
- 福祉・保健医療人材の確保・育成
- 観光振興
- 農林水産業の振興



立憲民 河野 俊紀 議員 (千葉市美浜区)

- 生成AIの活用とリスク
- 国民保護計画の徹底
- 性犯罪の根絶に向けて
- 高齢者の安心安全施策の充実
- 気候変動を踏まえた海岸保全
- 電話de詐欺対策の捜査強化



公明党 阿部 俊昭 議員 (柏市)

- 知事の政治姿勢、多様性尊重条例
- 自主財源の確保、命名権他
- 視覚障がい者支援、音声コード
- オーバードーズ問題
- 県立都市公園の民間活力導入
- 県立高校の不用備品の処分

11月30日(木)

予算委員会の設置

12月定例会県議会において、県の新年度予算および関係する議案を横断的かつ多角的に審査するため、予算委員会が設置されました。

会派等名	委員名					
自民党	◎小池正昭	○中村実	○小野崎正喜	池下しげき	森岳	高橋秀典
	鈴木ひろ子	宮坂奈緒	宮川太	崎太洋	川村博章	小川としゆき
立憲民	河野俊紀	野田剛彦	守屋貴子	原直也		
	秋林貴史	篠田哲弥				
公明党						
共産党						
千政団						
国民						
その他の会派・無所属	西尾憲一(平和党)	プリティ長嶋(県民声)	松戸隆政(新政会)			
	岩波初美(北総タ)	秋葉就一(リベ民)	川口絵未(市民ネ)			
	中西香澄(市民力)	折本龍則(有志)	田沼隆志(無所属)			
	西ヶ谷正士(無所属)	松澤武人(無所属)	雨宮真吾(無所属)			

◎委員長 ○副委員長

(令和5年12月19日現在)

可決・同意された議案・発議案

◆令和5年度補正予算関係(9件)

▽一般会計(2件)

▽特別会計(7件)

◆条例の制定

▽千葉県多様性が尊重され誰もが活躍できる社会の形成の推進に関する条例

◆条例の一部改正(5件)

▽職員の給与に関する条例等

▽特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例

▽使用料及び手数料条例

▽千葉県立自然公園条例

▽千葉県病院事業の設置等に関する条例

その他(38件)

▽契約の締結(6件)

▽契約の変更(3件)

▽財産の取得

▽損害賠償の額の決定及び和解

▽当せん金付証券の発売

▽指定管理者の指定(24件)

▽教育委員会委員の任命同意(2件)

議員提出

◆条例の一部改正

▽千葉県議会議員の議員報酬等に関する条例

可決された意見書

▽国民皆歯科健診の実現を求め

る意見書



代表質問から

知事 政治姿勢

問 千葉県誕生150周年の節目を迎え、県政運営に当たり、歴史や伝統、文化などの財産をどう生かしていくのか。

答 本県は、三方を海に囲まれた豊かな自然や、農業・水産業・商工業等のバランスの取れた産業構造に加え、豊かな食文化や伝統的な祭りなど、先人たちが築いてきた独自の歴史や伝統、文化などを有している。

県としては、こうした歴史や伝統、文化は、県民共有の財産であり、本県ならではの特性や強みとして、地域社会の発展と県民の活力向上に生かしていくことが重要であると考えている。

千葉県誕生150周年の節目に、各地域で開催された記念事業等を通じて、県民とともに地域の特色ある歴史や伝統、文化などを振り返るとともに、これらの財産を大切にしながら、未来に向けた新しい千葉県づくりを進めていく。

問 今回の台湾出張の成果はどうか。

答 今回の台湾訪問では、県内の農水産関係者や観光事業者、県議会議員とともに、官民一体となったプロモーションを実施するなど、本県の魅力をしかりとアピールしてきた。

特に、依然として県産農林水産物の輸出障壁となっている規制措置の撤廃について、台湾日本関係協会会長に直接要請書を手渡ししたところ、「中央政府にしつかりと伝え、できるだけ

早い問題解決に向けて頑張っていく」との向きの発言ももらった。

さらに、農林水産物の輸出商談会などでは、さつまいもやキヌメダイをはじめとする県産品の魅力をPRし、現地の食品バイヤーから大変高い評価を得た。

また、観光誘客の促進に向け、現地の旅行業者との商談会や教育旅行関係者等との意見交換を行うとともに、企業誘致に向けたセミナーを開催し、機能強化される成田空港を有する本県の立地優位性等をアピールすることができた。

これらの取り組みを通じ、現地の事業者等との関係構築を行うことができ、今後の取引等の拡大に向けた足がかりができたものと考えている。

問 今回の台湾出張の成果を今後どのように生かしていくのか。

答 今回の訪問を一過性のもの終わらせることなく、継続した取り組みを行っていくことが重要だと考えている。

そこで、関係を構築した現地の事業者等と連携して、今後も商談会やフェアなどを開催するとともに、訪問に参加した県内事業者へのフォローアップの取り組みなどにより、県産農林水産物の輸出や観光誘客の拡大を図る。

また、企業誘致セミナーに参加した台湾企業に対する継続的な働きかけや、現地関係機関等との間に構築したネットワークを通じ、県内への投資の促進に努めていく。

防災対策

今後、本県経済の活性化を図るため、今回の訪問で築いた関係を深めながら取り組みを進めていく。

問 令和元年房総半島台風の経験を活かして、今回の大雨対応にどのように取り組んだのか。

答 県では、令和元年台風の経験を踏まえ、災害対策本部の設置時期を含めた配備基準の見直しやリエゾン派遣の制度化、被災市町村へ応援職員を円滑に派遣するための体制整備などに取り組んできた。

9月の大雨に際しては、土砂災害警戒情報が発表されるなどした42市町村にリエゾンを派遣するとともに、線状降水帯による大雨被害の恐れが生じた段階から、災害対策本部を設置し、被害状況の把握などの初動対応を行った。

また、被災市町村の迅速な応急救助や被災者支援の実施に向け、発災当日に災害救助法を適用するとともに、罹災証明の交付や災害廃棄物の処理などの支援ニーズを把握した上で、県や市町村から応援職員を派遣したところである。

今後も迅速かつ的確な初動対応と被災者支援を行うため、災害対策について不断の見直しを行いながら、災害対応力の強化に取り組んでいく。

問 台風13号接近に伴う大雨で被害を受けた地域の観光業の支援について、県はどのように取り組んでいくのか。

答 本県の観光業は、令和元年の台風やそれに続く感染症の影響で大きな打撃を受けたが、さまざまな支援策で需要喚起に努めてきたことにより、入込

客数はおおむね以前の水準に戻りつつあった。そうした最中に今回の大雨による被害を受けたが、その影響を最小限にとどめ、回復基調を確かなものにしていくことが重要である。

そこで、県では引き続き多くの人に本県を訪れてもらうため、県内外に向けた観光情報の発信を強化するとともに、災害救助法が適用されるなど、被害が大きかった市町の観光誘客を促進するため、観光協会が宿泊施設等と連携して行う取り組みを支援することとした。

取り組みの内容は、宿泊料の割引キャンペーンや、地域の観光施設等で使用できるクーポンの提供、新たな誘客イベントの開催など、幅広く対象とすることとしている。

今後、これらの事業を早期に実施し、県内外からの観光・宿泊需要を喚起することで、被災した地域の観光業を支援していく。

問 成田空港周辺の道路ネットワークの強化について、どのように取り組んでいくのか。

答 成田空港の機能強化に合わせて、空港周辺の地域振興を図るためには、道路ネットワークの整備が重要である。

現在、北千葉道路の成田市区間では、橋梁工事などを進めるとともに、関戸地区における成田下総線との接続について、都市計画変更の手続きを進めており、昨日より都市計画案の概要の縦覧を開始した。

また、圏央道の新たなインターチェンジについては、国の助言を受けながら、成田空港

株式会社と検討を行っているところである。さらに、空港周辺の地域づくりに関する実施プランを踏まえ策定することとしている道路整備計画については、早期の策定に向け、周辺市町と意見交換を重ねるとともに、空港の機能強化によって、周辺道路が受ける影響などについて検討しているところである。

人材育成

問 児童福祉専門職員の人材育成方針について、策定状況はどうか。

答 県では、喫緊の課題となっている児童相談所等の人材育成を計画的に推進するため、「千葉県児童福祉専門職員人材育成基本方針」を今月、策定した。

この方針では、専門性と幅広い視野を有する職員の育成など、人材育成の基本的な考え方や目的を明らかにするとともに、専門研修の計画的受講や市町村等との人事交流による多様な業務経験の促進等、キャリアアップの見える化を行うこととした。

今後は、この方針に基づき、職員がやりがいと意欲をもって安心して働けるよう、新たに実施するマネジメント研修やキャリア研修等により人材育成を着実に進めるとともに、職員の採用活動においても積極的にPRをすることで、人材の確保にも努めていく。

株式会社と検討を行っているところである。さらに、空港周辺の地域づくりに関する実施プランを踏まえ策定することとしている道路整備計画については、早期の策定に向け、周辺市町と意見交換を重ねるとともに、空港の機能強化によって、周辺道路が受ける影響などについて検討しているところである。

気候変動による海岸保全

問 計画策定に向け、現在の検討状況および今後の検討内容、スケジュールはどのようにしているのか。

答 国が令和2年に、今後の気候変動を踏まえ、海岸保全基本方針を変更したことから、県では、令和4年8月に、県・市町・学識経験者等で構成する検討会を設立し、海岸保全基本計画の見直しを進めているところである。

これまでに、高潮によって生じる海面の影響については、現行計画よりも、さらに0.4メートルから1.4メートルの範囲で上昇するというシミュレーション結果が示されており、現在は、津波の影響について検討を進めているところである。

今後、高潮と津波の検討結果に基づいて、検討会の意見を聞きながら、防護の目安となる海岸保全施設の高さや、施設整備に関する基本的な考え方について検討し、令和6年度の計画策定に向けて取り組んでいく。

電話de詐欺対策

問 電話de詐欺について首都圏を集中的に捜査するために千葉県警も加わった専門部隊が発足すると聞かされたが、従来とどのように違い、どのように強化されていくのか。

答 還付金詐欺や架空料金請求詐欺などの振込型の手口では、犯罪者グループが全国各地の被害者をだまして犯人らが管理する口座に現金を入金させた上、首都圏のATMで現金の引き下ろしをするケースが多く見られる。

従来は、被害を認めた地方の警察が、被害金が引き出された首都圏に出張して捜査を行う、いわゆる「発生地主義」を原則としていたため、これが地方の警察の負担となっていた。

多様性の尊重

問 多様性が尊重され誰もが活躍できる社会の形成の推進に関する条例の意義についてどう考えているのか。

答 高齢者や女性、外国人、障害のある人、LGBTなど、社会にはさまざまな人が存在している。そうした人々が身近に存在し、さまざまな問題で生きづらさを感じていることに、一人一人が気付くことが大事だと考えている。

この条例案は、多様な人々の人権が尊重され、それぞれの個性や能力を発揮できる環境づくりを進めるとともに、多様性を尊重することが社会の活力や創造性の向上に相乗的に効果を発揮するとの認識のもと、誰もが自分らしく生き、暮らし、活躍することができるとともに、その実現を目指すものがある。

従来は、被害を認めた地方の警察が、被害金が引き出された首都圏に出張して捜査を行う、いわゆる「発生地主義」を原則としていたため、これが地方の警察の負担となっていた。



各常任委員会の
主な質疑から

総務防災常任委員会

問 補正額5億6000万円の主な内容は何か。

答 令和5年台風第13号に伴う大雨では特に住宅の浸水被害が大きく、事業費の大部分、5億2200万円は被災した住宅の応急修理費用となっている。

総合企画企業常任委員会

問 千葉県多様性が尊重され誰もが活躍できる社会の形成の推進に関する条例の制定について、日本の伝統や文化を大切にしながら、多様性を尊重すべきと考えるが、県の見解はどうか。

答 本条例は、多様性が尊重され、誰もが活躍できる社会づくりを目指すものである。先人が築かれた歴史や伝統、文化といった財産を将来世代にしっかりと引き継いでいくとともに、人口減少など社会環境が変化する中においても、将来にわたって、本県の活力を維持・向上

できるよう、この条例のもと、しっかりと取り組んでいく。

健康福祉常任委員会

問 今後、千葉リハビリテーションセンターを再整備することだが、新センターは主にごどのような特徴があるのか。

答 各フロアの面積を広く確保し、効果的なりハビリ訓練機器などを整備することで、さらに高度で専門的なりハビリテーションを提供することができるなどがある。

環境生活警察常任委員会

問 9月の大雨で被害を受けた粟又の滝遊歩道について、債務負担行為を設定しているが、遊歩道の復旧は、今後どのように進めるのか。

答 粟又の滝遊歩道の復旧に向け、被害の全容の把握や安全なルートなどを検討する必要があるため、まずは遊歩道全体の測量や地質調査などを進める。

また、一部の工程については、令和6年度までの作業期間を要するため、債務負担行為を設定して対応していく。

商工労働常任委員会

問 9月補正予算で計上した中小企業生産性向上・設備投資促進補助金について、事

業の開始に向けた進捗状況はどうか。

また、制度の内容はどのようなものとなるのか。

答 本補助金については、受け付け・審査等を行う委託事業者との契約を終え、申請の受け付けを12月20日に開始することとしている。

また、制度の内容に関して、対象事業者は、県内に事務所を有する中小企業について業種を問わず広く対象とし、対象事業は、省人化や業務効率化、生産量の増大、新事業展開や新商品開発といった生産性向上に資する設備投資を対象としている。

農林水産常任委員会

問 令和5年は、米に高温障害が発生した県が多い中、本県では、一等米比率が高く、収穫量も多かったことをどう分析しているのか。

答 早場米の産地である本県では、高温や水不足の影響を回避できたことで、平年並みの一等米比率になった。

また、もみの数は少なかったものの、登熟が順調に進んだ結果、本県の作柄は「やや良」となった。

県土整備常任委員会

問 台風第13号に伴う大雨による被害箇所の復旧を今

後どのように進めていくのか。

答 現地の状況に応じ、速やかに応急対策を講じるなど安全確保を図るとともに、国による災害査定終了後、順次入札・契約手続きを進め、工事に本格的に着手していく。

文教常任委員会

問 本県における不登校児童・生徒へのICTを活用した学習支援および教育相談の状況はどうか。

答 ICTを活用した学習支援については、登校できない児童・生徒の机の上にパソコンを設置し、授業のライブ配信を行っている例がある。しかしながら、クラス内の人間関係で不登校となっている場合

など、このような形でも参加が難しいことがあり、教育委員会が一括して配信するなどの支援も検討する必要があると考えている。

また、オンライン相談については、子どもと親のサポートセンターで、令和5年度、試行しており、実施件数は9月末現在で53件となっている。



令和6年2月定例県議会 会期および議事・委員会予定(素案)

月日	議事・委員会予定	開議時間
2月14日(水)	開会  	午前10時
20日(火)	質疑並びに一般質問  	//
21日(水)	//  	//
22日(木)	//  	//
26日(月)	// 	//
27日(火)	// 	//
28日(水)	// 	//
29日(木)	// 	//
3月 4日(月)	予算委員会  	午前10時30分
5日(火)	// 	//
6日(水)	// 	//
7日(木)	常任委員会(健康福祉・文教)	午前10時
8日(金)	// (総合企画企業・商工労働)	//
11日(月)	// (環境生活警察・県土整備)	//
12日(火)	// (総務防災・農林水産)	//
15日(金)	閉会 	午後1時

※本案はおおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会で協議されます。
※傍聴される場合は、議会ホームページで最新の情報をご確認ください。

 ...チバテレで生放送されます。
 ...パソコン、スマートフォンなどでインターネット中継をご覧になれます。

常任委員会
活動報告

常任委員会では、それぞれの所管する事項の審査の参考とするため、現場に出向いて調査活動を行っています。詳しくは、ホームページをご覧ください。 千葉県 県内調査 検索

文教常任委員会 調査日：令和5年12月12日(火)
調査先：千葉県立千葉中学校・千葉高等学校(千葉市)

千葉県立千葉中学校・
千葉高等学校における
取り組みについて

千葉高等学校における探究活動の現状および中高一貫教育重点校としての取り組みについて説明を受け、その後千葉中学校を視察しました。



千葉高等学校における探究活動の現状について説明を受ける委員

千葉県議会公式 X(旧ツイッター)・フェイスブック

県議会の情報を随時配信していますので、ちば議会だよりと併せて、ぜひご覧ください。

【X(旧ツイッター)】
<https://twitter.com/chibakengikai>

【フェイスブック】
<https://www.facebook.com/chibakengikai>



ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 12月 検索

11月30日(木)



自民党 三沢 智 議員 (館山市)

- ▼病院局の清掃の入札
- ▼マリンレジャー
- ▼公共事業の推進
- ▼文化の振興



自民党 中村 実 議員 (船橋市)

- ▼東葉高速鉄道
- ▼スポーツの振興
- ▼水産業
- ▼多様性条例

12月1日(金)



立憲民 鈴木 均 議員 (習志野市)

- ▼県産品の地理的表示登録
- ▼マンシオン管理の適正化
- ▼保育所の安全計画
- ▼動物取扱業について



自民党 高橋 秀典 議員 (旭市)

- ▼特定外来種による農業被害防止対策
- ▼園芸農業への支援
- ▼海業の推進
- ▼千葉県産日本酒のプロモーション



自民党 鈴木ともなり 議員 (市原市)

- ▼市町村の抱える地域課題の解決
- ▼地域医療
- ▼新湾岸道路
- ▼地域性を踏まえた高校教育



千政団 石川 りょう 議員 (船橋市)

- ▼児童相談所
- ▼東葉高速鉄道
- ▼道路問題
- ▼南船橋駅周辺の交通安全対策

12月4日(月)



自民党 高橋 祐子 議員 (富里市)

- ▼地球温暖化対策
- ▼子宮頸がんのワクチン接種
- ▼農業振興
- ▼外国人児童生徒への日本語指導



自民党 小路 正和 議員 (勝浦市・いすみ市・夷隅郡)

- ▼台風13号からの復旧復興
- ▼夷隅地域の振興
- ▼多様性条例
- ▼武道振興



自民党 市原 淳 議員 (茂原市)

- ▼河川整備
- ▼田んぼダム
- ▼カーボンニュートラル
- ▼薬剤師



共産党 浅野 ふみ子 議員 (市川市)

- ▼多様性尊重条例案
- ▼経済対策
- ▼高齢者の尊厳を守る介護
- ▼子育て世帯と学生の負担軽減



公明党 篠田 哲弥 議員 (松戸市)

- ▼グリーンスマートモビリティ
- ▼不登校児童生徒・保護者支援
- ▼修学支援(給付型奨学金拡充)
- ▼東京2025デフリンピック

12月5日(火)



立憲民 安藤 じゅんこ 議員 (松戸市)

- ▼千葉経済圏の確立
- ▼千葉県の農林水産物
- ▼多様性への対応
- ▼県民の安心・安全



自民党 小倉 登 議員 (千葉市花見川区)

- ▼東葛・湾岸ゾーンの活性化
- ▼花見川
- ▼高校教育
- ▼犯罪被害者支援



自民党 小野崎 正喜 議員 (山武市・山武郡)

- ▼成田空港
- ▼圏央道
- ▼県産農産物のブランド力の強化
- ▼農地の基盤整備



自民党 森 岳 議員 (木更津市)

- ▼農林水産業の振興
- ▼観光業の地域連携
- ▼医師の働き方改革
- ▼木更津港長期構想



有志 折本 龍則 議員 (浦安市)

- ▼少子化対策
- ▼護岸整備
- ▼災害対策
- ▼道路問題



立憲民 栗原 直也 議員 (四街道市)

- ▼地域商業の再生に向けて
- ▼環境保全条例の見直し
- ▼視覚障がい者の交通安全対策
- ▼地域公共交通の維持・確保



市民ネ 川口 絵未 議員 (佐倉市・印旛郡酒々井町)

- ▼新井総合の君津環境整備センター
- ▼介護施設を支援する独自施策を
- ▼校庭に放置された釘等の危険物
- ▼酒々井町中川の治水対策

12月7日(木)



無所属 松澤 武人 議員 (鎌ヶ谷市)

- ▼空き家対策
- ▼犯罪被害者支援
- ▼失語症のある人への支援
- ▼北千葉道路

12月6日(水)



自民党 渡辺 務 議員 (富津市)

- ▼地域経済の活性化
- ▼観光振興
- ▼人口問題
- ▼道路



県民声 プリティ長嶋 議員 (市川市)

- ▼梨の生産振興
- ▼河川管理
- ▼地盤沈下対策
- ▼松くい虫被害対策



自民党 阿井 伸也 議員 (大網白里市)

- ▼県内水道の統合・広域連携
- ▼県内水産業と海外輸出
- ▼河川の治水・内水氾濫(小中川の治水対策)
- ▼障がい者スポーツ



12月定例県議会 知事あいさつ

◎令和5年度補正予算案他

このたび提案致しました案件は、令和5年度12月補正予算案、各種条例案およびその他附帯議案の50議案の他、報告2件です。

最初に議案第1号から議案第8号までの8議案は、一般会計および特別会計の補正予算案です。

今回の補正予算は、台風第13号の接近に伴う大雨により生じた被害への対応に係る経費を計上するとともに、人事委員会勧告に基づく給与改定を行うため人件費を増額するもので、一般会計の補正予算の規模は、148億600万円となります。

この他、事業の早期執行を図るための債務負担行為の設定や、適正な工期を確保するための繰越明許費の設定などを行います。

続いて、補正予算に計上した経費のうち、災害による被害への対応について、その概要をご説明いたします。

災害救助法に基づき、被災した市町が実施した避難所の設置や、住宅の応急修理などの救助に要した経費を負担するとともに、応急仮設住宅として民間賃貸住宅を借り上げます。

また、被災した道路や河川などの公共土木施設の復旧を行う他、氾濫の危険性が高い河川について、護岸整備や河道掘削等を前倒しで実施し、治水対策を一層推進します。

さらに、農地や農業用施設、林道などの復旧について、市町村等への支援を行う他、被災した地域鉄道についても、関係市町とともに復旧費用の一部を助成します。歩道の流失等により通行止めとなっている栗又の滝遊歩道については、滝への入口などの復旧を進めるとともに、遊歩道全体の復旧に向けた検討を行います。

また、被災した地域の観光業を支援するため、観光協会等が宿泊施設と連携して行う観光誘客の取り組み等



に対し助成するとともに、県内外に向けた観光情報の発信を強化します。

◎千葉県多様性が尊重され誰もが活躍できる社会の形成の推進に関する条例

次に、議案第9号「千葉県多様性が尊重され誰もが活躍できる社会の形成の推進に関する条例の制定について」ご説明いたします。

本条例については、9月1日から骨子案に関するパブリックコメントを実施するとともに、県議会や関係団体等の皆さまのご意見を伺いながら検討を進め、このたび条例案として今議会に提案させていただくこととしました。

本条例は、県民一人一人がさまざまな違いがある個人として尊重され、誰もが参加し、その人らしく活躍できる社会の形成を推進していくことを目的としております。

多様性を尊重することが社会の活力や創造性の向上に相乗的に効果を発揮するという認識のもと、人口減少など社会環境が変化する中であっても、千葉県が持続的に発展していけるよう、県議会の皆さまとともに取り組んでまいりたいと考えています。

この他、議案の概要および台湾訪問について報告がありました。知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧になれます。 千葉県議会 知事あいさつ 検索

千葉県議会ホームページ

県議会情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

主な掲載内容

- 県議会議員の紹介
- 傍聴のご案内
- インターネット中継(ライブ・録画)
- 本会議および予算委員会(過去3年分視聴可)
- 会議録検索
- 会議の概要
- 議会図書室の利用案内

〈ホームページアドレス〉 <https://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html>

インターネット中継 動画配信中

スマートフォン・タブレット端末でも視聴できます。



千葉県議会中継 検索